

公立大学法人横浜市立大学(YCU、以下市大)は、国際都市横浜と共に歩む大学として教育・研究・医療の拠点機能を担うことをその使命とし、地域が求める人材の育成、研究成果・知的資源の社会への還元等による地域貢献を積極的に進めています。

皆様に市大のことを知っていただき、伝えることで、さらに繋がりを深めていきたい。そんな想いを込めて本通信を作成しています。

## 特集◎大学×行政×企業×地域住民によるエリアマネジメント



地元企業や団体、行政、大学、地域住民等で構成される「横浜金沢シーサイドエリアマネジメント協議会」では、エリアマネジメントによる金沢シーサイドタウンの課題解決や活性化を目的とした「あしたタウンプロジェクト」に取り組んでいます。このプロジェクトは、市大(代表教員 三輪律江准教授、中西正彦准教授)と横浜市住宅供給公社が事務局を務め、活動の第一弾として2018年7月に金沢シーサイドタウン商店街の空き区画を活用したコミュニティスペース「並木ラボ」をオープンしました。

「並木ラボ」では、地域資源を活かし、地域や世代を繋ぐための交流の場や機会を提供することにより住民の自発的な活動を支援し、持続可能なコミュニティづくりを進めています。

### << 主な活動 >>

- 就労希望のある地域住民と人材確保が課題となっている中小企業等と結び付ける「ココチャレ」イベントの開催
- 医学部教員による「健康づくり出前講座」や「前向き子育て講座」の実施
- 市大の学生と地域住民が商店街の通路内に設置する花壇を製作した「ハナバコ設置ワークショップ」の実施
- 地域住民が趣味や特技を活かし、自ら企画・運営を行う講座の実施(パソコンなんでも相談室、ハーブ体験等)

詳しい活動内容はこちらをチェック!!

あしたタウンプロジェクト  
<http://ashitatown.jp/>



並木ラボ  
<https://ja-jp.facebook.com/namiki.ycu/>





## 首都圏初となる データサイエンス学部を開設

2018年4月に首都圏で初となるデータサイエンス学部を開設しました。日々蓄積されていく膨大なビッグデータを解析し、データの持つ力で未来を創ること、それがデータサイエンスです。医学・理学・経済学など多様な応用分野を持ち、融合型の教養教育を実践してきた本学の強みを活かして、データから新たな価値を創造するデータサイエンス人材を育成します。

### 学部長メッセージ

情報技術の飛躍的な進歩に伴い、社会のあらゆる所に多種多様なデータが蓄積されつつあります。そのようなデータから価値を見出し、データに基づく意思決定ができる人材が求められています。データサイエンス学部は、変化の時代をデータの力で切り拓く、次世代を担う新しい学部です。

データサイエンス学部長 岩崎 学



### 多数の企業と協定を締結

- 株式会社インテージホールディングス
- サントリー MONOZUKURI エキスパート株式会社
- 株式会社マイナビ
- 全日空商事株式会社
- 株式会社帝国データバンク
- 株式会社マクロミル
- 日産自動車株式会社（協定締結順）

## 神奈川産学チャレンジプログラムで 5チームが最優秀賞を受賞！

「神奈川産学チャレンジプログラム」は産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペです。応募総数235チームのうち、市大から出場した5チームが最優秀賞、5チームが優秀賞を受賞しました。12月に行われた表彰式では、第15回記念特別賞を受賞した2チームが多数の企業を前にプレゼンテーションを行いました。



## 海外での実践的な教育活動



市大では、国際的な視野を持った人材を育成するための手段として、海外での実践的な教育活動を支援する「海外フィールドワーク支援プログラム」を行っています。平成30年度には18グループが渡航し、フィリピンにおける母性看護の実態調査やイタリアの大学にある研究装置の見学などを行い、貴重な経験と多くの学びを得ることができました。

## 「国際法模擬裁判」に 瀬田ゼミの学生が日本代表として出場！

アジア諸国の学生を対象とした国際法模擬裁判「2018年アジアカップ」に瀬田真准教授のゼミ学生が日本代表として出場しました。19の国と地域から65チームが応募し、瀬田ゼミは総合12位という結果を残しました。





# 学生による活動



**子どもプログラミング教室**  
パソコン部や一般の学生がプログラミングツールを使ったアプリの作成に挑戦する小学生のサポートをしました。



**医学部学生団体 YDC**  
市内の小・中学校を訪問し、医療機関の適切な使い分けや救急車の呼び方など、医療に関する授業を行いました。



**おさんぽキッズカメラマン**  
三輪・中西ゼミの学生が多世代間の交流作りを目的としたイベントを企画・開催しました。



**横浜マラソン 2018**  
約 28,000 名のランナー一人ひとりにメダルをかけ、フルマラソン完走の感動を共有しました。



**寺子屋塾 西大道**  
学生団体 StepUp↑が夏休み期間の小学生に勉強を教えたり昔ながらの遊びを楽しむ3日間のプログラムを行いました。



**金沢まつり花火大会での募金活動**  
金沢まつり花火大会の会場において、来年の花火大会の開催資金を募る募金活動を行いました。



**いのちの授業**  
看護学科の学生が小学生に命の大切さや自分たちが誕生した奇跡について伝える訪問授業を行いました。



**牛乳パックで和紙づくり**  
金沢小学校はまっ子ふれあいスクールの子もたちと牛乳パックを使った紙漉きを体験しました。



**防災スタンプラリー**  
三輪ゼミの学生が地域の保育園児と一緒に、防災スタンプラリーや防災グッズの体験を行いました。



**横浜シーサイドトライアスロン**  
選手受付や誘導、フィニッシュテープを持つ係など、様々な形で大会の運営に携わりました。



**金沢プロムナードづくりプロジェクト**  
朝夷奈切通をプロムナードとして整備するための方法として、ウェブサイトの作成等を検討しました。

## ボランティア支援室

ボランティア支援室は、地域のニーズにワンストップで対応する学生のボランティア活動の窓口です。地域団体や公共施設等からの依頼や要請を受けて、多くの学生がボランティア活動に参加しています。

◆お問い合わせ◆

☎045-787-2444

✉voluntee@yokohama-cu.ac.jp



ホームページ



Facebook



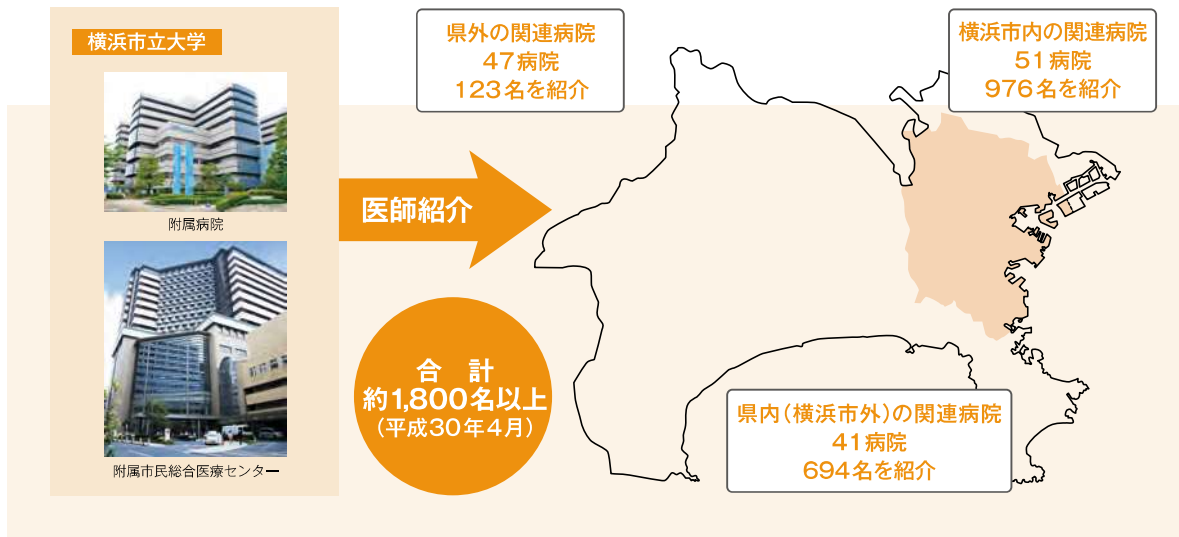
Twitter





# 医療

市大は、医学部を持つ大学として、「横浜市立大学附属病院」と「横浜市立大学附属市民総合医療センター（センター病院）」を設置し、一般の医療機関が提供することが難しい専門医療や先進医療を広く地域の方々に提供するとともに、地域の医療機関へ医師を紹介することを通じて、地域医療の充実・向上に貢献しています。



## 病院機能評価の認定

公益財団法人日本医療機能評価機構から病院機能について体系的な審査を受け、一定の水準に達していると評価された場合に認定されるものです。附属病院とセンター病院は継続して認定を受けています。



## ロボット支援下手術の導入

附属病院では、2014年からロボット支援下手術（ダ・ヴィンチ手術）を導入し、すでに600例以上の治療を行っています。前立腺がんや胃がん、直腸がんの治療などには健康保険を適用できます。



## ハイブリッド手術室

センター病院では、手術を行える清潔環境とカテーテル治療を行えるX線透視・撮影環境を両立したハイブリッド手術室を導入し、各科が連携しながら難しい心臓病の治療に対応しています。



## 横浜市唯一の 高度救命救急センター

センター病院では、他の医療機関では十分な対応が難しい心肺停止や多部位の外傷など生命危機を伴う重篤な救急患者を24時間365日受け入れ、命を救う最後の砦として治療にあたっています。



## 質の高い専門医の養成

専門医養成プログラムを実施し、多くの医療機関と連携した高度なレベルのトレーニングを提供することで、優秀な臨床医を育てるとともに将来の医学の発展に寄与する人材を育成します。



## 一般向け広報誌の発行

附属病院の広報誌「With（ウィズ）」やセンター病院の広報誌「十全（じゅうぜん）」では、病院の様々な取り組みや最新ニュース、病院食レシピなど役立つ情報を提供しています。





# 病院におけるコミュニケーション・デザインの可能性を発信！

平成30年6月に「コミュニケーション・デザイン・センター（YCU-CDC）」を開設しました。YCU-CDCは、ヘルスケア分野のコミュニケーション課題の解決を目指す世界初の医科学研究機関におけるクリエイティブ研究拠点として、センター長である武部貴則特別教授を中心にヘルスケアに関する課題をデザイン・アート・コピーライティング等の手法を用いて解決していきます。



## ナイト・ミュージアム

現代美術アーティスト、曾谷朝絵さんのアートアニメーション作品「宙（そら）」を病院2階ロビーの壁や天井に投影しました。



## こころまちクリスマス

リースでできた視力検査表や患者さんのメッセージでデコレーションが完成するクリスマスツリーが院内を明るく彩りました。



## 知らせるマスク

マスクにはウイルスの絵がプリントされており、物理的に感染を防ぐだけでなく、感染予防の意識も高めるマスクです。



## いないいない白衣

白衣の袖から飛び出した耳を裏返すと可愛い動物たちが登場し、子どもの気持ちを落ち着かせます。緊張した医療現場の空気をやわらげるコミュニケーション・ツールです。



## ナースバード

ナースバードは、あなたの健康状態を聞き出すロボットです。遠くない未来、診察前にナースバードが事前問診を行うようになる日が来るかもしれません。



## 県内の大学病院で初！ CLSが今年度から本格始動

チャイルド・ライフ・スペシャリスト（CLS）とは、医療機関という家庭とは異なる環境で治療に臨む子どもや家族の精神的負担を軽減し、主体的に医療を受けられるようにサポートする専門家です。CLSの雇用は、県内の大学病院では初、横浜市小児がん連携病院でも初めてのこととなります。

### 【主な取組】

- 治療的遊び（セラピューティック・プレイ）の提供
- 処置・検査中の精神的サポート
- 診断や病名告知、説明時（手術・検査など）の心理的サポート 等



## 医学部の学生が病院内で「クリスマスミニコンサート」を開催

センター病院において、医学部の学生団体「福浦絃楽舎」がクリスマスミニコンサートを開催しました。

クリスマスにちなんだ楽曲やスタジオジブリ作品の楽曲を弦楽四重奏により演奏し、待合ホールがクリスマスの雰囲気になりました。





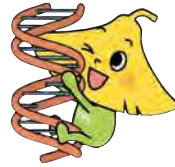
## 生命医科学研究科(鶴見キャンパス)

生命医科学研究科では、日々おこなわれている研究内容や得られた研究成果を広く市民の方に紹介するために、様々なイベントを行っています。中でも理化学研究所と共同で開催している施設一般公開や、実際にキャンパス内の研究設備を使って実験体験できるバイオエキスパート研究体験シリーズは大好評のイベントです。

### EVENTS

#### 平成30年度の主な開催イベント

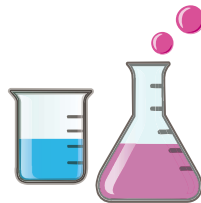
- ④ タンパク質のシミュレーション最前線：スパコンを使ってみよう！（バイオエキスパート研究体験）
- ① 身近な科学を体験してみよう（一般公開）
- ④ 中学校職業体験会



## 木原生物学研究所(舞岡キャンパス)

木原生物学研究所では、生命科学分野の教育研究について理解を深めていただく機会として、小・中・高校と連携した体験授業の開催や市民向け講演会など様々な活動を通して地域へ貢献しています。

「一日施設公開・講演会」では、親子で参加する DNA 抽出実験や木原均博士が開発した種なしスイカの試食など、普段なかなか学ぶ機会のない理系体験ができます。



### EVENTS

#### 平成30年度の主な開催イベント

- ④ 切ってびっくり！種なしスイカ！
- ① ブロccoliからDNAをとりだそう！
- ④ シュワッと変化！イチゴで色遊び

## ピロリ菌感染のリスク啓発と自己検査ができるアプリを開発

消化器内科の須江聡一郎助教の研究グループは、若年者を対象としたヘリコバクターピロリ菌に対する予防啓発と検査ができるスマートフォンアプリを開発しました。

また、平成31年1月には市内の新成人を対象に、アプリ内のクイズ解答者の中から400名にピロリ菌自己検査キットを提供するキャンペーンを実施しました。



## 小・中学生を対象とした災害医療体験ツアーを開催！

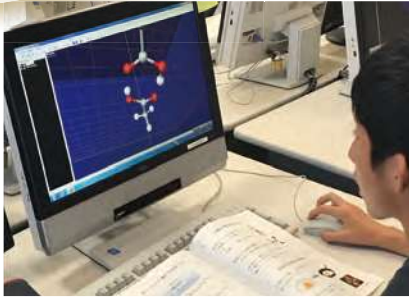
看護学科の教員と学生が、市内の小・中学生を対象にした「子ども災害医療体験ツアー」を開催しました。センター病院の協力のもと、高度救命救急センターや屋上ヘリポートの見学のほか、YMAT（横浜市救急医療チーム）が出勤時に使用する装備の着用体験など、災害が起こった時の対応や災害時に必要な備えについて学びました。





# 地域貢献

## 市民向け公開講座



### ひらめき☆ときめきサイエンス

小・中・高校生が、大学の研究者とともに最先端の研究の一端を体験するサイエンスプログラムです。



### キッズ外科手術体験セミナー

小・中学生が本物の手術器具を用いて外科手術の疑似体験や救命処置の体験プログラムを行うセミナーです。



### エクステンション講座（医療講座）

がんや生活習慣病などの重要な疾患に対する新たな予防法や診断法、治療法などについて解説します。



### 木原生物学研究所市民講座

自然科学への学びのきっかけとして、身近にある自然から最先端の研究まで、幅広い分野の内容を取り上げています。



### 学術情報センター市民講座

学術情報センターでは、本学所蔵の貴重資料を活用した講座やライブラリーツアーなどを定期的に開催しています。



### エクステンション講座（教養講座）

歴史や文学、文化、芸術等に関する講義や、話題の漫画やドラマを取り上げた講義など、幅広いジャンルの講座を開講しています。

## 教員による地域貢献活動

### Aozora Factory

芦澤美智子准教授とゼミ学生、「LINKAI 横浜金沢」（金沢臨海部産業団地）の企業、金沢区が連携して取り組む産学官連携事業です。三井アウトレットパーク横浜ベイサイドや海の公園なぎさ広場では、地元企業とのコラボレーションによる体験型ワークショップを展開し、多くの親子連れで賑わいました。



### 空き家活用プロジェクト

齊藤広子教授とゼミ学生が、金沢区瀬戸の空き家をDIYで地域住民と交流できる空間にリノベーションしました。本プロジェクトは京浜急行電鉄株式会社や金沢区と連携し、新たな地域コミュニティの創出や空き家対策の推進など、地域が抱える課題の解決を目指します。



### 横浜ワールドポーターズ協働プロジェクト

中條祐介教授とゼミ学生が、新港地区の魅力を高めてエリアを活性化することを目的に、横浜ワールドポーターズの協力のもと、来場者の顔写真を使用したモザイクアートの制作・展示を行いました。







## 横浜市立大学創立 100 周年に向けて



横浜市立大学の歴史は、1928年に設立した横浜市立横浜商業専門学校（Y専）から始まり、その後1944年設立の横浜市立医学専門学校（後に横浜医科大学）が統合され、歴史と伝統を育んできました。そして2005年には、公立大学法人横浜市立大学として生まれ変わり、現在に至っています。

本学のミッションは「国際都市横浜と共に歩み、教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学」を目指すことです。

2028年の創立100周年という大きな節目に向け、2018年11月に創立90周年記念式典を開催し、市民や卒業生など総勢850名の方々にご参加いただきました。市民の皆様には改めて感謝するとともに、その喜びを分かち合えるよう、横浜と共に歩む総合大学として、さらなる発展を決意した次第です。

横浜市民の皆様を支えられ、また、期待される公立大学として、今後も歩み続けていきます。

学長 窪田 吉信

### 創立 90 周年記念式典の様子

平成30年11月3日（土）金沢八景キャンパスにおいて、創立90周年記念式典が挙行されました。式典には林文子横浜市長をはじめとする多くの来賓のほか、卒業生や在学生など総勢850名以上の方々にご参加頂きました。

式典では学生が制作した90周年記念動画の放映や、窪田学長から「YCUビジョン100」として取り組む4つの重点事業と3つの記念事業プロジェクトの発表等が行われました。



## 大学施設の開放

市大の施設は、学生・教職員だけでなく、卒業生や一般の方々にもその一部を解放しています。（一部、有料）

- 図書館（学術情報センター（金沢八景キャンパス）、医学情報センター（福浦キャンパス））
- 市民交流プラザ（いちょうの館）
- プール ※開放日は大学ホームページをご確認ください。
- 施設の貸出（金沢八景キャンパス（体育館・ホール・教室）、福浦キャンパス（グラウンド・ホールなど））
- 企業等への共用システムの提供
- 大学見学

詳しくは大学ホームページよりお問い合わせください。

<https://www.yokohama-cu.ac.jp/>



## YCU サポート募金

市大では、「YCU サポート募金」と「YCU100 募金」を設け、皆様からのご寄附をお願いしております。現在、10年後の創立100周年に向けた「YCU100募金」へのご支援を特に強化して募集しております。大学の発展のために、ぜひ皆様のお力をお貸しください。

お申込み  
お問い合わせ

募金担当  
TEL : 045-787-2447  
E-Mail : kifu@yokohama-cu.ac.jp



## 公立大学法人横浜市立大学 地域貢献センター

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸2-2-2（金沢八景キャンパス）

TEL : 045-787-2449

E-Mail : chiiki@yokohama-cu.ac.jp